

国語科学習指導案

河内長野市立千代田小学校

指導者 ○○ ○○

○○ ○○

○○ ○○

○○ ○○

1. 日時 令和8年2月10日(火) 第5校時(13:55~14:40)

2. 場所 5年1組教室 5年2組教室 5年3組教室 5年4組教室

3. 学年・組 第5学年1組 30名 第5学年2組 30名
第5学年3組 30名 第5学年4組 30名

4. 単元名 事例と意見の関係をおさえて読み、考えたことを伝え合おう

5. 教材名 『想像力のスイッチを入れよう』(光村図書)

6. 単元目標

○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。【知識及び技能】(1)カ

◎文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。【思考力、判断力、表現力等】C(1)オ

○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。【思考力、判断力、表現力】C(1)カ

○積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習の見通しをもってメディアとの関わり方について話し合おうとしている。【学びに向かう力、人間性等】

7. 指導にあたって

(1) 児童について

本学年の児童は、これまで学習してきた説明文「見立てる」「言葉の意味が分かること」で、文章の構成をとらえ、事例・理由や論の展開に着目して要旨をまとめることを学習した。「固有種が教えてくれること」では、文章だけでなく資料を用いた効果を考えながら読むことを学習した。そして、筆者の考えに対して自分の考えを書いたり、資料を使って説明する文章を書いたりする学習を行ってきた。どの説明文も、繰り返し出てくる言葉や文末の表現などに注目しながら読み進め、筆者の主張や願いに線を引いて内容をとらえるようにしてきた。また、自分の考えを書くときには、筆者の考えに対して納得できるかできないかとその理由を明確にすること、資料を使って説得力を持たせることを意識してきた。しかし、これまでの活動を通して、文章を読んで大体の内容をとらえることはできるようになってきたが、筆者の主張やそれに対しての自分の考えを説明する力が弱く、自分の言葉でわかりやすく伝えること、説得力のある説明をすることに課題があると考えられる。

わかりやすく説明するためには本文の内容を正確にとらえることが大切になる。本単元でも筆者の主張を読み取ること、自分の考えを書くことを大切にしていきたいと考えている。

(2) 教材について

本教材は、メディアから発信される情報を正確に受け止めるために必要な努力について、複数の事例を挙げて、比喩を用いながら主張を展開している。「想像力のスイッチ」である4つのキーワードを意識することは、これからも社会で主体的・批判的に情報を読み解くうえで重要になると考えられる。まずは、事例から筆者がどんな考えを述べているか読み取る。文章の中で、3つの事例を見つけ、どの事例からどんな意見を導き出しているかを読み取って表にまとめる。それが最終段落の筆者の考えにつながっていくので、比喩表現でどんなことを伝えたいかをまとめ、自分の考えを持つことにつなげていきたい。

次に、メディアとの関わり方について自分の考えをまとめ、互いに交流する。筆者の考えを読み取る中で、「自分にも似たような経験がないか」「自分の知っている知識の中で関連することはないか」「疑問に感じたことはないか」と自分のことをふりかえる機会を作っていきたい。そして、情報を受け取るとき、発信するときにどうしたらよいかを考え、まとめていく。お互いの意見を交流する中で、共通点や相違点を見つけて考えを深めてほしい。

さらに、たくさん情報がある中で想像力のスイッチを入れることの大切さに気づき、これからの生活の中でも生かしていけるようにしたい。自分たちの行動がどのような影響を及ぼすか想像してから発言、行動できるようになってほしい。

8. 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。C(1)オ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。C(1)カ 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習の見通しをもってメディアとの関わり方について話し合おうとしている。

9. 指導と評価の計画(6時間)

次	時間	ねらい・学習活動	評価規準(観点) 【評価方法】等 ◎指導に生かす評価 ○記録に残す評価
1	1	<ul style="list-style-type: none"> これまでの自分と情報との関わり方について話し合う。 題名やリード文を読み、今後の学習を意識しながら全文を通読し、初発の感想を書く。 意味調べをする。 	◎題名や事例に関心を持って読み、初発の感想を持っている。(態)【発言・ノート】
2	2	<ul style="list-style-type: none"> 構成をとらえ、筆者の伝えたいことを考える。 はじめ・中・終わりに分け、筆者の考えが「はじめ」「終わり」にある双括型の説明文であることを知る。 	◎文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(知)【発言・ノート】
	3	<ul style="list-style-type: none"> 事例とその事例に対する筆者の意見を整理する。 事例から、「想像力のスイッチを入れる」とはどういうことかを読み取る。 	○事実と感想、意見などとの関係を、叙述をもとに押さえ、それぞれの事例をもとにして筆者が伝えたいことをまとめている。(思)【発言・ノート】
	4	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が考える「想像力のスイッチを入れること」についてまとめる。 比喩表現の内容を考える。 「もっと読もう」を参考にして、自分の経験を思い出しながら、今後メディアとどう関わっていくかを考える。 	○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。(思)【発言・ノート】

3	5 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアとの関わり方について自分の考えを文章に書くためのメモを作成する。 ・作成したメモをもとに自分の考えを文章に書く。 	<p>○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。</p> <p>(思)【発言・ノート】</p>
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章をグループで読み合い、感想を伝え合う。 ・お互いの考えの共通点や相違点を見つけ、伝え合う。 ・学習のふりかえりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 <p>(思)【発言・ノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、学習の見通しを持ってメディアとの関わり方について話し合おうとしている。 <p>(態)【発言・観察】</p>

10. 本時の展開 (5/6)

(1) 本時の目標

・メディアとの関わり方についての自分の考えを文章に書くことができる。

(2) 本時の評価規準

・メディアとの関わり方についての自分の考えを文章に書いている。

【思考力、判断力、表現力等】C(1)カ

(3) 本時の判断基準

十分満足できる状況 (A)	おおむね満足できる状況 (B)	努力を要する子どもへの支援 (C)
<ul style="list-style-type: none"> ・メディアとの関わり方について、具体例を入れながら、自分の考えを整合性のとれた文章にまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアとの関わり方について、具体例を入れながら自分の考えを文章に書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「想像力のスイッチ」の4つのキーワードのうちどこに一番気をつけたかを考えさせる。 ・これまで学習したことをふりかえり、ヒントカードを提示して具体例を考えさせる。

(4) 本時の学習過程

時	学習内容	指導上の留意点	評価規準(観点) 【評価方法】等 ◎指導に生かす評価 ○記録に残す評価
5	1. 前時までの学習を振り返る。 2. 本時のめあてを確認する。	・想像力のスイッチを入れるとはどういうことか、4つのキーワードを確認する。 ・筆者の考えを確認する。	
メディアとの関わり方について、自分の考えをまとめよう。			
15	3. どのように書くかのメモを作成する。(ロイロノート)	・はじめ、中、終わりにどんなことを書くかを確認する。	○メディアとの関わり方について自分の考えを文章に書いている。(思)【発言・ノート】
10	4. グループで交流する。	・どんなことを書いたかを見せあう。 ・友だちの意見から自分のメモの内容を書き加える。	
10	5. 自分の考えを文章に書く。		
5	6. 本時の学習をふりかえり、次時の学習の見通しを持つ。	・自分の考えをまとめた文章を読み合うことを伝える。	

11. 板書計画

想像力のスイッチを入れよう

下村 健一

想像力のスイッチとは

①「まだ分からないよね。」と考える。

②「事実かな、印象かな。」と考える。

③「他の見方もないかな。」と想像する。

④「何がかくれているかな。」と想像する。

⑤ メディアとの関わり方について、
自分の考えをまとめよう。

・ 共感・納得したこと

・ 自分の経験

・ これからのように関わっていくか

(交流するとき)

・ 四つのスイッチのことを書いているか。

・ 選んだことと経験があっているか。

・ これから自分がどうしたいかわかりやすく書けているか。